

夏休み植生子どもカレッジ「わくわくエコ教室」 8/9(木)pm @千曲市植生公民館

1 時間余の出前授業を実施しました。参加した児童 12 名 (小 2~6 年) の感想と共に紹介します。

■うんこドリルで地球温暖化防止
パワーポイントを使ったお話。



- ★クイズをやった、いろいろなことが知れて、楽しかった。
- ★未来の地きゅうのことをして、いまできることがわかりました。
- ★でんきのむだづかいをへらそうと思いました。

■かんきょうマークかるた
30 種類の環境マークが学べる県センターオリジナルかるた。



- ★みんなでとりあつたのしかなかったし、かんきょうのマークをいっぱいしることができた。
- ★マークをたくさん覚えていこうと思った。

■発電いろいろ

ソーラー、手回し、微風風力、エアロバイクなど。



- ★いろいろなことをして電気がつけられることがわかった。風だけで (ライトの) 光がひかったからびっくりだった。
- ★いつも電気のはきは気にしていなかったけど、ちきゅうおんだんかがすすむと考えると、「あ！電気けさなきゃ」と思うようになった。
- ★どんなしくみで発電しているか、くわしく知りたい。

■おかいものビンゴ

HANYU

会場をスーパーに見立て、7 コーナーから商品パッケージを 1 つずつ選び、ついているマークでビンゴに挑戦。



- ★いろいろな物にマークがついていておもしろかった。
- ★おかいものはおつかいでふだん行っているけど、今日ならったことを活かして、おかいものをしていきたい。

推進員 \ふらっと/ インタビュー あるがもとえ 有賀 元栄さん (辰野町)

—中部ブロック合同推進員研修会* (9/6(木)-7(金) 岐阜で開催)はいかがでしたか？

*県センターは職員 2 名と有賀推進員、市センターは職員 1 名、推進員 1 名が参加しました。



有賀推進員(以下有): 1 日目の「相互ミニ体験」で他県の推進員の活動事例を実際に見せてもらったり、情報交換会や 2 日目の「みんなの相談タイム」などでディスカッションしたり、なかなかない機会でも貴重な経験になりました。

—有賀さんは第 4 期・5 期に推進員を務められ、その後第 10 期の後半から再度推進員にご応募いただきましたが、以前と比べていかがですか？

有: 推進員に求められる知識が高度になっていると感じます。7 月に開催された「環境白書を読む会」に参加するなど、知識のアップデートに努めています。

—最近の活動や、今後の活動の予定をお聞かせください。

有: 私は防災士ですので、防災関係の講演会の依頼が多いのですが、防災と温暖化の問題は切り離せない関係にあるため、両者を組み合わせて伝えています。7 月に石川県で開催された「地域防災トップセミナー」の基調講演では、「触れる地球」の画像を使いながら話しましたし、先日は松川町で「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」に参加し、「気候変動と災害」をメインテーマの 1 つとした講演を行いました。今後の活動としては、来年 1 月に開催される辰野町の「ゼロカーボン・アクション 2023」の企画に携わっており、辰野高校の生徒さんによる気候変動に関する研究成果の発表など、辰野町における本格的なゼロカーボン推進のスタートに相応しいイベントになるよう活動していきたいと思っています。

☀️熱かった夏を振り返る☀️



サンキャッチャー
になろう

8/3(土) am @若里公園(長野市)

みどりの市民、長野県NPOセンター(いずれも NPO 法人)と共同で実施、親子 10 組が参加しました。木陰で、信州大学工学部・高木直樹名誉教授から、地球温暖化の現状や再生可能エネルギーの活用などを学んだ後、いよいよソーラークッカーで調理体験!太陽の光だけで水が沸騰(95℃)し、ゆで卵・ゆで枝豆ができたことに、参加した親子はみな驚き、笑顔で頬張っていました。日なたの芝生は 35℃、木陰は 28℃ ↓ 太陽と緑の大切さを肌で感じるひとときになりました。



ゼロカーボン縁日

8/5(土)
@当協会(長野市)

くらしふと信州(ゼロカーボン社会共創プラットフォーム)と協働で開催。長野びんずるに集まった方々に、5つのミッションに挑戦してもらいました。第1会場のくらしふと信州が「①牛乳パック射的」「②謎解き」「③クイズ」、第2会場の当協会は「④計測せよ!」「⑤発電せよ!」を担当。約 150 人が、赤外線放射温度計を使って、日なた、グリーンカーテンの日かげ、色紙などの温度を測ったり、エアロバイク発電機をこいで扇風機を回したり、発電床の上で足踏みし、微風風力発電機を団扇であおいで、ライトをつけたりして、ミッションをコンプリートしました。



飯綱高原サマーキャンプ

8/1(土)~3(日)
@アソビーバ ナガノパーク

(有)ノア(長野市高田)が主体となる「自然体験と ICT 実行委員会」が主催する 2 泊 3 日の「2023 信州・飯綱高原サマーキャンプ」が、7 月と 8 月に各 1 回、小中学生を対象に開催されました。

キャンプの目的は、自然体験で得た知識をタブレットに記録し深掘りすることです。当協会もこの趣旨に賛同し、市センターが講師を務め、「環境教室」を実施しました。

日頃体験できない「発電鍋」[写真右上]の実験は、火起こしから始まって焚き火を作り[写真右]、鍋をかけ、水と鍋底の温度差ができると発電される仕組みを、接続した LED ランプが点灯することで体験できました。他にも「エネルギー比較実験器」[写真下右]やレモン電池、水素を使った燃料電池などの実験も好評でした。

森林観察[写真下左]なども含め、体験して学んだことをタブレットに記録し、一日を過ごしました。

